アプリケーションカタログ

接着剤の塩素イオン

関連業界	:	塗料・接着剤
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/沈殿滴定
関連規格		JIS K 0050, JIS K 8001

1. 概要

接着剤の塩素イオン濃度の測定は、試料を溶媒に溶解させ塩素イオンを抽出し、過剰に添加した銀イオンをチオシアン酸カリウム溶液で逆滴定を行い求めます。終点は滴定曲線上の変曲点とします。

予めブランク測定を行い、ブランク値と試料測定時の滴定量の差から塩素イオ濃度を算出します。

2. 装置構成

本体　：　電位差自動滴定装置（プリアンプリファイア：STD）

電極　：　複合銀電極(内部液 1mol/L-硝酸カリウム溶液)

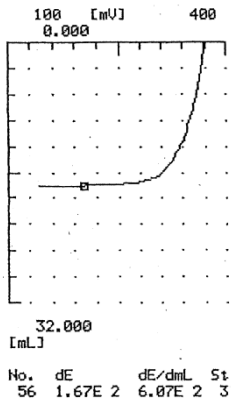
3. 試薬

滴定液　：　0.02mol/L チオシアン酸カリウム溶液（f＝1.063）

滴定溶媒　：　2-プロパノール，メタノール，トルエン

添加試薬　：　硝酸，0.02mol/L 硝酸銀溶液

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	採取量 (g)	滴定量 (mL)	塩素イオン濃度 (%)
1	2.5067	17.6251	0.2149
2	2.5063	17.6350	0.2147
3	2.5067	17.3587	0.2229
平均			0.2175
偏差			0.0047
RSD(%)			2.1506

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

＜問い合わせ先＞　京都電子工業株式会社

http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php